

元気なひと なかま



黒田智子さん
(全盲のサウンドテーブルテニス選手)

☺第16回全国障害者スポーツ大会優勝

25歳のときに多発性硬化症になり、28歳のときに視力を失いました。先々への不安と再発の恐怖で気持ちが外に向かない日々が続きましたが、三重県視覚障害者協会を通してサウンドテーブルテニス(STT)を始めたことで、前向きになることができました。STTは、アイマスクを着用し、金属入りの音が出るボールを、枠の付いた卓球台の上で転がし打ち合う競技です。最初は空振りも多かったですが、それでも楽しく、「もっと上手になりたい」と練習を続けてきた結果、昨年の10月に開催された第16回全国障害者スポーツ大会では優勝することができました。たくさんの方々の応援のおかげと感謝しています。

ルを立ち上げました。最初は4人でしたが、今では選手7人、ボランティアさん20人が集まって月2回和気あいあいと楽しく活動しています。この楽しさを健常者の方にも知ってもらいたいと思い、アイマスクを着用しない「SSピンポン」という競技を仲間と考えました。3月18日(土曜日)に体験会を社会福祉協議会で行いますので、興味のある方はぜひ見学にお越しください。障がいのある無しに関わらず、みんなで楽しく取り組んでいきたいと思っています。

ココロピンポン ☎059-382-5971(内山)



☺みんなで楽しくSSピンポン

ボランティアの方々の協力の下、「ココロピンポン」というサーク

ひと・まち・モータースポーツ

サーキットの「親子鷹」

昨年のF1世界選手権はニコ・ロズベルグ選手がチャンピオンを獲得。父ケケ・ロズベルグさんと親子でF1チャンピオンの快挙を達成しました。

ところで、鈴鹿にも「親子で日本一」がいるのをご存知ですか? そのしぶとい走りから「マムシの秀六と呼ばれたレジェンドレーサー佐々木秀六さんと現役プロレーサーの佐々木孝太選手です。秀六さんは1980年全日本F3選手権、孝太選手は2005年スーパーGT300クラスのチャンピオン。

全日本レベルでの親子チャンピオンは、他に星野一義さんと中嶋悟さんの親子を数えるのみです。

43歳の孝太選手はGT300ポールポジション最多獲得記録保持者。その速さで今年も国内屈指の激戦の同クラスチャンピオンを目指します。秀六さんは70歳目前の今も仕事に熱中。「本業のカーコーティング事業でもチャンピオン」が目下の夢。親子共々アクセル全開の日々が続きます。



■語り手 中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会事務局長)

広報すずか 2017年3月5日号

キーボード

今回の特集は消防団でした。仕事と家庭の両立に加えて、消防団活動を行っていくという消防団員のバイタリティに尊敬の念を抱くとともに、自信に満ちた表情がかっこよく、印象的でした。今回からデザインを変更した表紙には、3人の消防団員に登場していただきました。消防団員のそのかっこよさが伝わればと思います。

表紙だけでなく特集もこれまでとデザインを

変えました。変更するにあたっては、昨年12月に市内で開催された研修を受けてきました。講師は、平成27年に全国広報コンクールで内閣総理大臣賞を受賞した三芳町(埼玉県)の職員。どのようにレイアウトしたらよいかを学び、参考にしました。

今後もより良い広報を目指して、職員一同、改善を続けていきたいと思っています。(高)



スマートフォン用
広報すずか

■発行/鈴鹿市 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 ☎059-382-1100(代表) 🌐 <http://www.city.suzuka.lg.jp/>
 ■編集/政策経営部情報政策課 ☎059-382-9036 ☎059-382-2219 📧 johoseisaku@city.suzuka.lg.jp
 ■印刷・制作/指定就労継続支援事業所 八野就労支援センター印刷係
 ☎059-375-4381 ☎059-340-8810

再生紙を使用しています。この冊子は資源ごみの「新聞」に分別してください。